

## 2021年9月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年11月9日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社ノエビアホールディングス  
 コード番号 4928 URL <https://www.noevirholdings.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大倉 俊  
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 荒添 正司 (TEL) 078-303-5121  
 定時株主総会開催予定日 2021年12月6日 配当支払開始予定日 2021年12月7日  
 有価証券報告書提出予定日 2021年12月6日  
 決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 2021年9月期の連結業績 (2020年10月1日～2021年9月30日)

#### (1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年9月期	51,272	△1.1	8,557	6.2	8,972	8.9	6,383	13.6
2020年9月期	51,841	△12.5	8,060	△32.8	8,242	△32.7	5,618	△22.3

(注) 包括利益 2021年9月期 7,061百万円(14.8%) 2020年9月期 6,151百万円(△13.6%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2021年9月期	186.88	—	12.3	11.2	16.7
2020年9月期	164.48	—	10.7	10.1	15.5

(参考) 持分法投資損益 2021年9月期 一百万円 2020年9月期 一百万円

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年9月期	80,448	52,233	64.5	1,520.27
2020年9月期	80,052	52,243	64.9	1,521.77

(参考) 自己資本 2021年9月期 51,926百万円 2020年9月期 51,978百万円

#### (3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2021年9月期	9,063	△416	△7,181	30,841
2020年9月期	7,312	△1,615	△6,962	29,199

### 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2020年9月期	—	0.00	—	205.00	205.00	7,002	124.6	13.4
2021年9月期	—	0.00	—	210.00	210.00	7,172	112.4	13.8
2022年9月期(予想)	—	0.00	—	210.00	210.00		110.4	

### 3. 2022年9月期の連結業績予想（2021年10月1日～2022年9月30日）

（％表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	29,400	13.7	4,600	1.6	4,700	1.6	2,100	4.8	61.48
通 期	58,500	14.1	9,200	7.5	9,400	4.8	6,500	1.8	190.30

（注）2022年9月期の期首より「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号 2020年3月31日）等を適用するため、従来売上高から控除していた一部の項目を費用処理する変更等が発生いたします。2021年9月期を同様の基準で算定した場合、通期売上高は前期比0.3%増の見通しとなります。なお、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益への影響は軽微となる見通しであります。

#### ※ 注記事項

（1）期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

（2）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無
- ② ①以外の会計方針の変更： 無
- ③ 会計上の見積りの変更： 無
- ④ 修正再表示： 無

（3）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年9月期	34,156,623株	2020年9月期	34,156,623株
② 期末自己株式数	2021年9月期	235株	2020年9月期	104株
③ 期中平均株式数	2021年9月期	34,156,472株	2020年9月期	34,156,562株

（注）1株当たり当期純利益（連結）の算定の基礎となる数式については、添付資料16ページ「1株当たり情報」をご覧ください。

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の実績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 経営成績・財政状態に関する分析（1）経営成績に関する分析」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績・財政状態に関する分析 .....	2
(1) 経営成績に関する分析 .....	2
(2) 財政状態に関する分析 .....	4
(3) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当 .....	5
2. 経営方針 .....	5
(1) 会社の経営の基本方針及び中長期的な会社の経営戦略 .....	5
(2) 目標とする経営目標 .....	5
(3) 会社の対処すべき課題 .....	5
3. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	5
4. 連結財務諸表及び主な注記 .....	6
(1) 連結貸借対照表 .....	6
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書 .....	8
(3) 連結株主資本等変動計算書 .....	10
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書 .....	12
(5) 連結財務諸表に関する注記事項 .....	13
(継続企業の前提に関する注記) .....	13
(追加情報) .....	13
(連結貸借対照表関係) .....	13
(セグメント情報等) .....	13
(1株当たり情報) .....	16
(重要な後発事象) .....	16

1. 経営成績・財政状態に関する分析

(1) 経営成績に関する分析

①当期の経営成績

《概況》

	2020年9月期		2021年9月期		増減額 (百万円)	増減率 (%)
	売上高 (百万円)	構成比 (%)	売上高 (百万円)	構成比 (%)		
売上高	51,841	100.0	51,272	100.0	△569	△1.1
化粧品事業	38,742	74.7	38,325	74.7	△416	△1.1
医薬・食品事業	11,273	21.8	11,117	21.7	△155	△1.4
その他の事業	1,825	3.5	1,828	3.6	2	0.2

	2020年9月期		2021年9月期		増減額 (百万円)	増減率 (%)
	金額 (百万円)	売上高比 (%)	金額 (百万円)	売上高比 (%)		
営業利益	8,060	15.5	8,557	16.7	497	6.2
経常利益	8,242	15.9	8,972	17.5	729	8.9
親会社株主に帰属 する当期純利益	5,618	10.8	6,383	12.4	765	13.6

当連結会計年度（2020年10月1日～2021年9月30日）におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により、企業収益や雇用情勢が依然として厳しい状況にあり、景気の動向はより一層不透明な状況で推移しました。

当社グループが事業を展開する市場においては、新型コロナウイルス感染症の影響を受けました。

このような環境の中、中期経営計画のテーマ「グループ各事業の持続可能な経営による節度ある成長の実現」に取り組んでまいりました。

その結果、当連結会計年度の業績は、売上高51,272百万円（前期比1.1%減）、営業利益8,557百万円（同6.2%増）、経常利益8,972百万円（同8.9%増）、親会社株主に帰属する当期純利益6,383百万円（同13.6%増）となりました。

《セグメント別の状況》

(a)化粧品事業

	2020年9月期 (百万円)	2021年9月期 (百万円)	増減額 (百万円)	増減率 (%)
売上高	38,742	38,325	△416	△1.1
セグメント利益	9,505	9,600	95	1.0

化粧品事業は、売上高38,325百万円（前期比1.1%減）、セグメント利益9,600百万円（同1.0%増）となりました。

カウンセリング化粧品及びセルフ化粧品の売上は、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、微減となりました。

(b) 医薬・食品事業

	2020年9月期 (百万円)	2021年9月期 (百万円)	増減額 (百万円)	増減率 (%)
売上高	11,273	11,117	△155	△1.4
セグメント利益	1,261	1,442	180	14.3

医薬・食品事業は、売上高11,117百万円（前期比1.4%減）、セグメント利益1,442百万円（同14.3%増）となりました。

(c) その他の事業

	2020年9月期 (百万円)	2021年9月期 (百万円)	増減額 (百万円)	増減率 (%)
売上高	1,825	1,828	2	0.2
セグメント利益	10	156	146	1,454.5

その他の事業は、売上高1,828百万円（前期比0.2%増）、セグメント利益156百万円（同1,454.5%増）となりました。

（注）セグメント利益及び損失は、セグメント間取引消去及び各報告セグメントに配分していない全社費用調整前の金額であります。なお、当連結会計年度のセグメント利益の調整額の詳細につきましては14ページ及び15ページ「（セグメント情報）③報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報（注）1」をご覧ください。

②次期の見通し

新型コロナウイルス感染症の影響は、今後も不透明な状況が見込まれます。

このような環境の中、中期経営計画のテーマ「グループ各事業の持続可能な経営による節度ある成長の実現」を目指すことにより、2022年9月期の連結業績は、売上高585億円、営業利益92億円、経常利益94億円、親会社株主に帰属する当期純利益65億円を予想しております。

2022年9月期の期首より「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号 2020年3月31日）等を適用するため、従来売上高から控除していた一部の項目を費用処理する変更等が発生いたします。2021年9月期を同様の基準で算定した場合、通期売上高は前期比0.3%増の見通しとなります。なお、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益への影響は軽微となる見通しであります。

(2) 財政状態に関する分析

①資産、負債及び純資産の状況

当連結会計年度末の総資産は、前連結会計年度末に比べ396百万円増加し、80,448百万円となりました。主に、現金及び預金が1,645百万円、投資有価証券が714百万円それぞれ増加したことと、有形固定資産が982百万円、商品及び製品が651百万円、未収入金が196百万円それぞれ減少したことによるものです。

負債は、前連結会計年度末に比べ406百万円増加し、28,215百万円となりました。主に、未払法人税等が540百万円増加したことによるものです。

純資産は、前連結会計年度末に比べ10百万円減少し、52,233百万円となりました。主に、前期末配当7,002百万円による減少と、親会社株主に帰属する当期純利益6,383百万円により、利益剰余金が621百万円減少したことと、その他有価証券評価差額金が493百万円増加したことによるものです。

以上の結果、自己資本比率は64.5%、1株当たり純資産は1,520.27円となり、前連結会計年度末に比べて自己資本比率は0.4%の減少、1株当たり純資産は1.50円の減少となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という）は、前連結会計年度末に比べ1,641百万円増加し、30,841百万円となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの増減要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動による資金の増加は9,063百万円（前期比1,751百万円の収入増）となりました。主に、税金等調整前当期純利益8,966百万円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動による資金の減少は416百万円（前期比1,199百万円の支出減）となりました。主に、有形固定資産の取得による支出376百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動による資金の減少は7,181百万円（前期比219百万円の支出増）となりました。主に、配当金の支払7,002百万円によるものであります。

(参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2017年 9月期	2018年 9月期	2019年 9月期	2020年 9月期	2021年 9月期
自己資本比率(%)	63.2	62.6	63.3	64.9	64.5
時価ベースの自己資本比率(%)	234.9	255.3	231.2	209.9	226.3
キャッシュ・フロー対有利子負債比率(%)	—	—	—	—	—
インタレスト・カバレッジ・レシオ(倍)	—	—	—	—	—

自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／営業キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：営業キャッシュ・フロー／利払い

※いずれも連結ベースの財務数値により計算しております。

※株式時価総額は自己株式を除く発行済株式数をベースに計算しております。

※有利子負債は、連結貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っているすべての負債（利子込み法によるリース債務を除く）を対象としております。

### (3) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当

当社は、株主の皆様への利益還元を経営上の重要課題と考えております。よって、中長期的な事業展開と経営体制の強化のための内部留保を確保しつつ、株主の皆様への安定的な配当を継続することを基本方針としております。当期の期末配当金は上記方針に則り、直近の配当予想から5円増配し、1株当たり普通配当210円といたします。

次期の配当金は、1株当たり普通配当年間210円を予定しております。

## 2. 経営方針

### (1) 会社の経営の基本方針及び中長期的な会社の経営戦略

中期経営計画のテーマ「グループ各事業の持続可能な経営による節度ある成長の実現」を達成するため、以下5つの方針を実行してまいります。

1. 日本市場でのイノベーションと持続的利益創出
2. ブランド価値の向上
3. 人材、組織の多様化加速
4. 研究開発・生産・物流の多様化加速による競争力強化
5. 変化に対応できる経営の推進

### (2) 目標とする経営指標

当社グループでは、売上高、営業利益及び自己資本当期純利益率/ROEを重要な経営指標とし、企業価値の最大化と収益性の向上を実現してまいります。

### (3) 会社の対処すべき課題

新型コロナウイルス感染症の影響は、今後も不透明な状況が見込まれます。

このような環境の中、当社グループの主要事業である化粧品、医薬・食品事業の市場における変化や多様化に対応するため、中期経営計画のテーマ「グループ各事業の持続可能な経営による節度ある成長の実現」を推し進めていくことが対処すべき課題と認識しております。

## 3. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較継続性や海外市場での資金調達の実現性の低さ等を勘案し、当面は、日本基準に基づいて連結財務諸表を作成する方針であります。

なお、国際財務報告基準の適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、今後、適切に対応していく方針であります。

4. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年9月30日)	当連結会計年度 (2021年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	29,456	31,101
受取手形及び売掛金	9,229	9,307
商品及び製品	6,603	5,951
仕掛品	90	116
原材料及び貯蔵品	1,384	1,263
未収入金	3,032	2,836
その他	638	571
貸倒引当金	△19	△20
流動資産合計	50,416	51,128
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	5,628	5,322
機械装置及び運搬具（純額）	1,631	1,418
土地	13,920	13,964
リース資産（純額）	1,130	1,027
建設仮勘定	490	122
その他（純額）	221	186
有形固定資産合計	※1 23,023	※1 22,041
無形固定資産		
のれん	271	240
ソフトウェア	83	70
その他	75	120
無形固定資産合計	430	431
投資その他の資産		
投資有価証券	2,064	2,779
繰延税金資産	2,570	2,705
その他	1,569	1,382
貸倒引当金	△22	△20
投資その他の資産合計	6,181	6,847
固定資産合計	29,636	29,320
資産合計	80,052	80,448



(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年9月30日)	当連結会計年度 (2021年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,148	2,592
リース債務	112	112
未払金	2,402	2,401
未払法人税等	1,109	1,649
賞与引当金	101	102
返品調整引当金	472	589
その他	1,233	1,192
流動負債合計	7,580	8,639
固定負債		
リース債務	1,112	1,000
長期預り保証金	12,894	12,415
繰延税金負債	596	492
退職給付に係る負債	5,250	5,531
その他	375	136
固定負債合計	20,229	19,575
負債合計	27,809	28,215
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	7,319	7,319
利益剰余金	43,662	43,040
自己株式	△0	△1
株主資本合計	50,980	50,357
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,236	1,730
為替換算調整勘定	△203	△27
退職給付に係る調整累計額	△35	△134
その他の包括利益累計額合計	997	1,568
非支配株主持分	265	306
純資産合計	52,243	52,233
負債純資産合計	80,052	80,448

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

連結損益計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2019年10月1日 至 2020年9月30日)	当連結会計年度 (自 2020年10月1日 至 2021年9月30日)
売上高	51,841	51,272
売上原価	18,760	18,241
売上総利益	33,081	33,031
販売費及び一般管理費		
販売促進費	4,000	3,707
広告宣伝費	1,202	1,171
給料手当及び賞与	6,265	6,171
賞与引当金繰入額	95	92
退職給付費用	569	551
減価償却費	1,129	989
研究開発費	1,065	1,041
その他	10,692	10,747
販売費及び一般管理費合計	25,020	24,473
営業利益	8,060	8,557
営業外収益		
受取利息	7	8
受取配当金	15	17
為替差益	2	39
保険解約返戻金	—	183
保険配当金	52	56
その他	104	151
営業外収益合計	183	455
営業外費用		
訴訟和解金	—	40
その他	1	1
営業外費用合計	1	41
経常利益	8,242	8,972
特別利益		
固定資産売却益	—	6
特別利益合計	—	6
特別損失		
固定資産除売却損	5	12
会員権評価損	3	—
特別損失合計	9	12
税金等調整前当期純利益	8,233	8,966
法人税、住民税及び事業税	2,650	2,915
法人税等調整額	△98	△409
法人税等合計	2,551	2,506
当期純利益	5,681	6,459
非支配株主に帰属する当期純利益	63	76
親会社株主に帰属する当期純利益	5,618	6,383

連結包括利益計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2019年10月1日 至 2020年9月30日)	当連結会計年度 (自 2020年10月1日 至 2021年9月30日)
当期純利益	5,681	6,459
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	374	493
為替換算調整勘定	20	207
退職給付に係る調整額	74	△99
その他の包括利益合計	469	602
包括利益	6,151	7,061
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	6,081	6,954
非支配株主に係る包括利益	69	107

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2019年10月1日 至 2020年9月30日)

(単位：百万円)

	株主資本			
	資本金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	7,319	44,875	△0	52,193
当期変動額				
剰余金の配当		△6,831		△6,831
親会社株主に帰属する当期純利益		5,618		5,618
自己株式の取得			△0	△0
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)				
当期変動額合計	—	△1,213	△0	△1,213
当期末残高	7,319	43,662	△0	50,980

	その他の包括利益累計額				非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	為替換算調整勘定	退職給付に係る 調整累計額	その他の包括利益 累計額合計		
当期首残高	861	△218	△109	534	218	52,946
当期変動額						
剰余金の配当						△6,831
親会社株主に帰属する当期純利益						5,618
自己株式の取得						△0
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	374	14	74	463	46	510
当期変動額合計	374	14	74	463	46	△703
当期末残高	1,236	△203	△35	997	265	52,243

当連結会計年度(自 2020年10月1日 至 2021年9月30日)

(単位:百万円)

	株主資本			
	資本金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	7,319	43,662	△0	50,980
当期変動額				
剰余金の配当		△7,002		△7,002
親会社株主に帰属する当期純利益		6,383		6,383
自己株式の取得			△0	△0
連結子会社の会計期間変更に伴う増減額		△3		△3
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)				
当期変動額合計	—	△621	△0	△622
当期末残高	7,319	43,040	△1	50,357

	その他の包括利益累計額				非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	1,236	△203	△35	997	265	52,243
当期変動額						
剰余金の配当						△7,002
親会社株主に帰属する当期純利益						6,383
自己株式の取得						△0
連結子会社の会計期間変更に伴う増減額						△3
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	493	176	△99	570	41	612
当期変動額合計	493	176	△99	570	41	△10
当期末残高	1,730	△27	△134	1,568	306	52,233

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2019年10月1日 至 2020年9月30日)	当連結会計年度 (自 2020年10月1日 至 2021年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前当期純利益	8,233	8,966
減価償却費	1,668	1,463
のれん償却額	31	31
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△27	△1
賞与引当金の増減額 (△は減少)	0	1
返品調整引当金の増減額 (△は減少)	112	116
退職給付に係る資産負債の増減額 (△は減少)	△64	280
受取利息及び受取配当金	△23	△25
為替差損益 (△は益)	0	△7
固定資産除売却損益 (△は益)	5	6
会員権評価損	3	—
売上債権の増減額 (△は増加)	1,619	△47
たな卸資産の増減額 (△は増加)	569	801
仕入債務の増減額 (△は減少)	△562	413
保険解約返戻金	—	△183
預り保証金の増減額 (△は減少)	△477	△478
その他	△290	△384
小計	10,799	10,950
利息及び配当金の受取額	20	23
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△3,507	△2,299
保険解約返戻金の受取額	—	390
営業活動によるキャッシュ・フロー	7,312	9,063
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△256	△258
定期預金の払戻による収入	291	258
投資有価証券の取得による支出	△1	△1
有形固定資産の取得による支出	△1,635	△376
有形固定資産の売却による収入	—	20
無形固定資産の取得による支出	△12	△57
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,615	△416
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△6,827	△7,002
非支配株主への配当金の支払額	△22	△66
その他	△111	△111
財務活動によるキャッシュ・フロー	△6,962	△7,181
現金及び現金同等物に係る換算差額	16	159
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△1,249	1,625
現金及び現金同等物の期首残高	30,448	29,199
連結子会社の会計期間変更による現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	—	16
現金及び現金同等物の期末残高	29,199	30,841

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の影響に関する会計上の見積り)

新型コロナウイルス感染症の影響は、今後も不透明な状況が見込まれます。

このような環境の中、当社グループにおきましては、翌連結会計年度以降の会計上の見積りに影響を及ぼす可能性があります。

(連結貸借対照表関係)

※1 有形固定資産の減価償却累計額は、次のとおりであります。

	前連結会計年度 (2020年9月30日)	当連結会計年度 (2021年9月30日)
有形固定資産の減価償却累計額	28,510百万円	29,515百万円

(セグメント情報等)

(セグメント情報)

①報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっております。

当社グループは、主として化粧品及び医薬品・食品の製造販売事業とアパレル・ボディファッション関連及び航空関連等のその他の事業を営んでおり、変化や多様化が進む市場環境に対応した戦略に基づく事業活動を行っております。

したがって、当社グループは、取り扱い商品を基礎とした事業別セグメントから構成されており、以下の3つを報告セグメントとしております。

「化粧品事業」は、化粧品及びトイレットリーの製造販売、化粧雑貨の仕入販売を行っております。

「医薬・食品事業」は、医薬品及び食品の製造・仕入販売を行っております。

「その他の事業」は、アパレル・ボディファッション及び航空機・船舶の仕入販売、航空運送・操縦訓練事業、その他を行っております。

②報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、直近の有価証券報告書(2020年12月4日提出)により開示を行った「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」における記載と概ね同一であります。

報告セグメントの利益は、営業利益をベースとした数値であります。

なお、セグメント間の内部収益及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

③報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報  
前連結会計年度(自 2019年10月1日 至 2020年9月30日)

(単位：百万円)

	化粧品 事業	医薬・食品 事業	その他の 事業	合計	調整額 (注)1	連結財務諸表 計上額 (注)2
売上高						
外部顧客への売上高	38,742	11,273	1,825	51,841	—	51,841
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	258	258	△258	—
計	38,742	11,273	2,084	52,100	△258	51,841
セグメント利益	9,505	1,261	10	10,777	△2,716	8,060
セグメント資産	53,553	16,249	2,498	72,302	7,750	80,052
その他の項目						
減価償却費	1,020	515	112	1,648	20	1,668
のれんの償却額	—	—	31	31	—	31
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	1,217	237	35	1,489	△33	1,456

(注) 1 調整額は、以下のとおりであります。

- (1) セグメント利益の調整額△2,716百万円の内訳は、セグメント間取引消去757百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△3,474百万円です。全社費用は、報告セグメントに帰属しない当社の管理部門に係る費用であります。
  - (2) セグメント資産の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社資産であります。全社資産は、主に報告セグメントに帰属しない当社の金融資産（現金及び預金、投資有価証券）及び管理部門に係る資産であります。
  - (3) 減価償却費の調整額は、セグメント間消去等に係る減価償却費であります。
  - (4) 有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額は、セグメント間消去等によるものであります。
- 2 セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。



当連結会計年度(自 2020年10月1日 至 2021年9月30日)

(単位:百万円)

	化粧品 事業	医薬・食品 事業	その他の 事業	合計	調整額 (注)1	連結財務諸表 計上額 (注)2
売上高						
外部顧客への売上高	38,325	11,117	1,828	51,272	—	51,272
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	260	260	△260	—
計	38,325	11,117	2,089	51,532	△260	51,272
セグメント利益	9,600	1,442	156	11,200	△2,642	8,557
セグメント資産	53,400	17,422	2,474	73,298	7,150	80,448
その他の項目						
減価償却費	947	489	59	1,496	△32	1,463
のれんの償却額	—	—	31	31	—	31
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	417	114	7	539	—	539

(注) 1 調整額は、以下のとおりであります。

- (1) セグメント利益の調整額△2,642百万円の内訳は、セグメント間取引消去804百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△3,446百万円です。全社費用は、報告セグメントに帰属しない当社の管理部門に係る費用であります。
  - (2) セグメント資産の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社資産であります。全社資産は、主に報告セグメントに帰属しない当社の金融資産(現金及び預金、投資有価証券)及び管理部門に係る資産であります。
  - (3) 減価償却費の調整額は、セグメント間消去等に係る減価償却費であります。
- 2 セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報)

該当事項はありません。

(報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報)

前連結会計年度(自 2019年10月1日 至 2020年9月30日)

(単位:百万円)

	化粧品 事業	医薬・食品 事業	その他の 事業	全社・消去	合計
当期末残高	—	—	271	—	271

(注) のれんの償却額に関しては、セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

当連結会計年度(自 2020年10月1日 至 2021年9月30日)

(単位:百万円)

	化粧品 事業	医薬・食品 事業	その他の 事業	全社・消去	合計
当期末残高	—	—	240	—	240

(注) のれんの償却額に関しては、セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

(報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報)

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2019年10月1日 至 2020年9月30日)	当連結会計年度 (自 2020年10月1日 至 2021年9月30日)
1株当たり純資産額	1,521.77円	1,520.27円
1株当たり当期純利益金額	164.48円	186.88円

(注) 1 潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在していないため、記載していません。

2 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 (2020年9月30日)	当連結会計年度 (2021年9月30日)
純資産の部の合計額(百万円)	52,243	52,233
純資産の部の合計額から控除する金額(百万円)	265	306
(うち非支配株主持分)	(265)	(306)
普通株式に係る期末の純資産額(百万円)	51,978	51,926
1株当たり純資産額の算定に用いられた期末の普通株式の数(株)	34,156,519	34,156,388

3 1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 (自 2019年10月1日 至 2020年9月30日)	当連結会計年度 (自 2020年10月1日 至 2021年9月30日)
親会社株主に帰属する当期純利益(百万円)	5,618	6,383
普通株主に帰属しない金額(百万円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益(百万円)	5,618	6,383
普通株式の期中平均株式数(株)	34,156,562	34,156,472

(重要な後発事象)

該当事項はありません。